

今ごろ訪ねたら、怒られるのではないかと、呆れられるのではないかと思うのは大間違い。キャリアセンターは、最後まで未内定者の支援をすることを使命としているのである。2大学のキャリアセンターで、今年の就活の状況から、今後の就活へのアドバイスまで熱く語ってもらったので、自身の大学のセンターに足を運ぶきっかけとしてほしい。大学3年生・短大1年生へのメッセージも、もらっているのでお見逃しなく！



NISHOGAKUSHA

納得のいく将来をつかむことを  
学生と一緒に考えます！

## 2016は研究不足と時期の混乱と

本学は文系大学のため、理系ほどには採用日程の変更の影響はありませんでした。ただ、3月から企業説明会が開始されるとともに、その場で筆記試験や面接が行われるケースが多く、段階を追った活動ができず、企業研究が不足になりがちでした。そのため「内定はもらえたけれど、これでいいのかな」と悩む学生が少なくないようです。内定は4月から出はじめて、5～6月がピークとなったのも例年どおりでした。けれど、昨年までは明確だった大手の次に中小という採用の順序が、今年に入り乱れたために、どの企業がこれからエントリーできるのかわからずに立ち往生する学生もいました。

## 結果の二極化が顕著ではありませんが

複数内定を得ている学生と、1つもない学生。その二極化が目立つことも、今年の特徴といえるでしょう。そのため、10月中旬現在の内定数は昨年の2～3倍と、驚異的な伸びを見せているものの、内定率はわずかな伸びとなっています。複数内定を得ているのは、活動量の多い学生。内定を得られていないのは、比較的、活動量が少なかった学生です。でも、10月になってから求人が活発になってきていますので、今がチャンスといえます。これまで動けなかった人も、これから動けばよいのです。

## 秋からも納得のいく内定をめざします

本学では10月を『内定獲得強化月間』とし、特に後半には学内企業合同説明会や就職力アップ講座を充実させて、未内定者の年内の内定獲得をめざしていきます。とはいえ、安易に内定を取らせることはありません。内定は大事ではありますが、入社してすぐ辞めることになるようなミスマッチは避けたいからです。納得のいく将来をつかみとってほしいので、まずは自分をしっかり見つめてもらいます。キャリアセンターを訪ねてくれたなら、カウンセラーが学生と「一緒に考える」ことから始めます。

## 「これならできる」がポイントです

4年次の秋からの学内合説は、企業数を絞ってじっくり行います。就活講座では、自分の長所を活かすにはどうすべきかを追究していきます。「やりたいこと」「興味のあること」から、「自分にできること」に目を向けるようシフトして



きます。「これならできるかも」という気づきを得てもらい、可能性を拡げてもらうのです。なお、学内合説では、企業が参加者の在籍する大学を承知のうえなので、外部の説明会よりだんぜん有利。皆さんもぜひ参加してほしいと思います。



二松學舎大学  
キャリアセンター事務局  
就職支援課 課長補佐  
室井 宏之 先生

## 以前、秋に訪れたある学生は…

当初は公務員をめざしていたものの惨敗。秋になってキャリアセンターに来て、再スタートを切った学生がいました。けれど、なかなか思うようにはいかなかったのです。それでもその学生は諦めず、いつまでも頑張りました。そして、卒業を迎えても内定はなかったものの、卒業式翌日に面接に臨んだ企業から、3月31日になって納得のいく内定を得ることができたのです。内定の翌日が入社式でした。ですから皆さんも、まだまだ諦めないように。まずはキャリアセンターを訪ねてみてください。キャリアセンターは、皆さんを待っているのですから。

## 2017年卒業予定の就活準備生へ

将来の選択にあたって、大人と触れ合うことは非常に大切です。親戚でも、趣味の場でも、機会は探せばあるはずなので、大人との交流に努めましょう。インターンシップは悪くはないですが、ただの会社説明会にすぎないものも多く、それで活動したつもりになるのは危険ですし、「行かなきゃバイバイから行く」では意味はありません。でも、明確な目的を持って参加するなら得るものがあるでしょう。先述もしましたが、学内企業合同説明会は学生にとって有利・有益なものなので、ぜひ参加してください。就活支援のプロが待っているキャリアセンターも活用してくださいね。